

練馬区エネルギービジョンの概要について

1 目的

住宅都市練馬にふさわしい自立分散型エネルギー社会の実現をめざす

2 位置付け

区の総合計画である「みどりの風吹くまちビジョン」のエネルギー分野における個別計画

3 政策の考え方

「災害時のエネルギーセキュリティの確保」と「効率的で低炭素なエネルギーの確保」の二つの観点から、4つの柱立てにより、政策を展開する。

- ・ 柱1 災害時のエネルギーセキュリティの確保
- ・ 柱2 分散型エネルギーの普及拡大
- ・ 柱3 省エネルギー化の推進
- ・ 柱4 区民とともに進める取組

4 策定年月

平成28年3月

5 計画期間

平成27年度から令和10年代初頭

- ・ フェーズ1 初動期(平成27年度～令和元年度)
「分散型エネルギー拠点」の早期形成に向けた取組と、「普及型技術」の定着促進
- ・ フェーズ2 加速期(令和2年度～)
先導的に整備した「分散型エネルギー拠点」の水平展開や、「次世代型技術」の区民生活への普及促進を加速

6 策定の背景

- ・ 東日本大震災を契機に明らかになった、従来の大規模集中型電力システムの災害時における安定供給面での脆弱性
- ・ コジェネレーション等の分散型発電技術の飛躍的な発展
- ・ 再生可能エネルギーの普及拡大や、水素など次世代エネルギー活用への期待の高まり